

児童支援課合同会議研修会実施報告

去る10月13日(土)、「未来につながる大切な力～今、出来ることを考える～」と題して、山形県コロニー協会として初めての主催となる児童支援課合同会議研修会を天童市高楯公民館にて開催しました。

初めての取り組みでしたが、お陰さまで当日は家族・学校・支援関係者を含め約130名と、たくさんの方々にご参加いただくことができました。研修会では、

「シード」や「ういる天童」の開設当初より大変お世話になっている福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター 医学部小児科学講座教授 横山浩之氏、いしい醫院院長 石井玲子氏等、専門医をお招きし、基調講演の他、Q&A など対談形式によるご助言等を頂くと共に、当協会の障害児支援における実践報告をさせていただきました。専門医のお二方からは、質の高い早期療育の必要性や有効性、保護者が手本と

なること等を含めた家庭での関わり方の重要性の他、メディアとの付き合い方等、具体的な事例や対処法などについての提案やご助言もあり、大変参考になる内容のご講義をいただきました。

当協会としても障害児支援に携わるようになり約5年。今回の研修を通し、スタッフ陣も改めて大切にしている視点の確認やより良い支援のヒント等、学び得たもの、気づきも多かったように感じます。今後も、将来を見据えたより良い支援を同じ方向を向いて提供していくよう、関係機関と密に連携を図りながら、スタッフ一同邁進していきたいと思っております。ご参加いただいた皆さま、スタッフの皆さま、ご協力ありがとうございました。



基調講演の様子(横山浩之氏)



対談・Q&Aの様子
(石井玲子氏を交えて…)

～ 山形コロニーの実践報告の様子 ～

